

目 次

フォトコーナー

特集記事「国と地方の連携」

- 一 対談 「公害紛争処理の現状」－（平成 30 年 9 月 21 日開催）…………… 1
- 出席者 公害等調整委員会委員長 荒井 勉  
 京都府公害審査会会長 吉田 誠司  
 公害等調整委員会事務局長（進行） 川淵 幹児  
 公害等調整委員会事務局 ※

ネットワーク

- 最前線紹介 「環境共生都市 岡崎を目指して」…………… 19  
 愛知県岡崎市環境部環境保全課

- がんばってまーす 苦情処理で思うこと…………… 21  
 福島県福島市環境部環境課 中村 誠彌

- がんばってまーす 「対話力」と「法規制のあり方」…………… 24  
 広島県福山市経済環境局環境部環境保全課 岩上 将也

- 土壤汚染対策法の一部を改正する法律…………… 27  
 環境省水・大気環境局土壤環境課

- 公害等調整委員会の動き…………… 36
- 1 審問期日の開催状況（平成 30 年 7 月～9 月）
  - 2 公害紛争に関する受付・終結事件の概要（平成 30 年 7 月～9 月）  
 公害等調整委員会事務局 ※

- 都道府県公害審査会の動き…………… 39  
 受付・終結事件の概要（平成 30 年 7 月～9 月）  
 公害等調整委員会事務局 ※

公害紛争処理制度に関する相談窓口

※印の記事は転載自由です。

表紙の写真

鞆の浦「常夜燈」（写真提供：広島県福山市）＜関連 P24＞

鞆港西側の雁木の南端に立つ常夜燈（とうろどう＝燈籠塔）は、鞆の浦の 1 番のシンボルです。「安政六年己未七月」（1859 年）に建造され、海中の基礎部分を入れると高さはおよそ 10 メートル、常夜燈の高さでは日本一を誇ります。

南に弓状の港を有する鞆の浦は多島海の天然の良港で、豊後・紀伊水道がぶつかる瀬戸内海の中央部に位置し、“潮待ちの港”として栄えました。

1826 年、オランダ商館の医師・シーボルトは『江戸参府紀行』の中で「活気に溢れた町」と記しています。その港町の海上安全を支えたのが、この常夜燈です。

現在も鞆の浦のシンボルタワー的役割を担っています。